



ながれ

タブレット端末貸与から2か月

副校長 岡安 寛

4月末にタブレット端末を子供たちに貸与してから2か月が経ちます。日々の充電等、ご家庭にご協力いただきながら、活用を進めているところです。授業では、ドリル学習や調べ学習だけでなく、撮った写真に言葉を添えて画面を見せながらスライドショー形式で説明する姿や、文章を書く際の手だてとして活用する様子が見られます。従来は行えなかった授業を、教員も試行錯誤しながら、工夫して展開しています。また、5・6年生の算数では、文部科学省「学習者用デジタル教科書実証事業」の参加校として、子供たちがそれぞれのタブレット端末で、デジタル教科書に触れられるようにしています。

驚くのは子供たちの習得スピードです。2か月前にはパスワードを入れるのにも苦労していた子供たちが、電源を入れてさっと立ち上げ、画面を素早くタップしたり滑らかにスワイプしたりしています。子供たちが「新たな時代の文具」を適切に使うことができるように、引き続き指導していきます。

7月には今後のことも考え、Teamsを使った朝の会の練習を、校内で予定しています。また、現在、「SNS東京ルール」とご家庭の約束をもとに、各学級で「SNS戸三小ルール」について話し合い、GIGAスクール構想の実態に合うように見直しを図っています。学期末に配付する「夏休みのしおり」に掲載しますので、夏季休業中にタブレット端末を使用する際に、ご確認ください。

校帽を大切に

本校では、2年生以上がえんじ色の校帽をかぶっています。この校帽は、11年前の開校85周年の際に初めて同窓会・地域の方々からいただき、以来、5年ごとに寄贈されてきました。この度、昨年度の開校95周年を記念して制作された校帽が届き、担任から2年生に手渡されました。真新しい帽子を受け取り、早速かぶった子供たちは、進級した喜びを一層感じていました。同窓生や地域の方々、子供たちのことを思って贈ってくださった校帽です。見守ってくださる方々の思いを大切に卒業までかぶり、通ってほしいです。ご協力くださった皆様、



ありがとうございました。

7・8月の主な行事予定

1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	伝統文化理解教育5年 委員会活動
6	火	避難訓練 放課後学習教室
7	水	4時間授業
8	木	
9	金	まなびの教室終
10	土	
11	日	
12	月	クラブ活動
13	火	ものづくり体験授業6年 放課後学習教室
14	水	校内研究授業 (2年1組5時間授業 他学級4時間授業)
15	木	安全指導 着衣泳1・3・6年
16	金	安全指導 着衣泳2・4・5年 まなびの教室個人面談
17	土	
18	日	
19	月	4時間授業 給食終 クラブ活動
20	火	4時間授業 終業式
21	水	夏季休業日始
22	木	海の日
23	金	スポーツの日 オリンピック開会式
26日(月)~30日(金)		個人面談

8月

24	火	夏季休業日終 パラリンピック開会式
25	水	2学期始業式
26	木	給食始 身体計測5・6年
27	金	身体計測3・4年

※予定は変更になることがあります。
※7月も引き続き特別時程とします。
※夏季水泳指導及び夏休み学習教室は、昨年度に引き続き、中止とします。

6月より、目白大学人間学部心理カウンセリング学科3年
さくやま かのん
作山 嘉音 さんが、週1回程度、メンタルサポートボラン
ティアとして活動しています。よろしくお願いします。

体力テストについて

体育的行事委員会 木村 進悟

2年振りに体力テストを実施しました。実施種目は、握力、反復横跳び、長座体前屈、立ち幅跳び、上体起こし、ソフトボール投げ、シャトルラン、50m走の8種目です。

今回の計測は、6年生と1年生、5年生と2年生、4年生と3年生というように、上学年と下学年がペアとなり、上学年がやり方を教え、下学年の計測を手伝いました。1・2年生は今回が初めての計測でしたが、力いっぱい頑張っていました。上学年の子供は、「下の学年のためにしっかりと計測しよう。」と張り切って取り組んでいました。シャトルランの計測では、一生懸命に走り続ける子に、「もう一息だよ！ファイト！」と声を掛けたり、走り終えたときに大きな拍手を送ったりするなど、ほほえましく感じました。

今回の体力テストの結果から現在の自分の体力を知り、今後の運動に役立ててほしいと思います。



動植物を育てる2年生

2年担任 湊 瑛莉佳・松島 大地

2年生は、生活科の学習で自然や生き物に触れる活動を行っています。学級園では、ナス、ピーマン、サツマイモを育て、クラスではザリガニを育てています。それぞれ、育て方を自分たちで調べ、日々水やりや世話を一生懸命に行っています。

ザリガニでは各グループで担当する1匹を決め、世話をすることになりました。名前を決め、自分たちで水の交換やえさやりを行っています。自分のタブレットでオスとメスの違いについて知ると、すぐにクラスのザリガニの性別を調べ、授業で調べきれないことは、「家でもっと調べてきていいですか」と、すすんで学ぼうとする姿も見られます。ザリガニの様子を観察し、「赤い色が夕日」のようだから『ゆうひちゃん』という名前にしたよ」と、名前を付けた理由を話すグループもありました。

責任をもって植物や動物の世話をする活動を通して、生命を尊重する態度や動植物に優しくする態度を養っていきたいと思います。



楽しく学べるようになるまで

学習指導支援員 河村 章子

今年度は1年生の国語、3・4年生の算数、5・6年生の家庭科のT2を担当しています。1年生は嬉しそうに手を挙げて発表する子供がたくさんいて、ほほえましくなります。学年が上がるにつれて少しずつ発言する子供は減っていきます。学習が難しくなりますし、恥ずかしさも出てくるのですが、間違ってもよいので、もっと積極的にどんどん発言してほしいです。

火曜日に実施している放課後学習教室には、ふだんの学習で不安を感じ、もっと分かるようになりたいと思っている2～4年生（2学期からは1年生も）の希望者が参加しています。クラスの授業とは雰囲気も異なり、少人数で学習できるので何度でも質問できます。分からないままで学習が進んでいくと「楽しい」と感じることは難しいかもしれません。「何度やっても筆算で間違えてしまいます」と困り顔の子供がいました。じっくりと、どこでつまづいているのかを一緒に考えていくと、ある時ふと解決できた様子が見られました。一緒に「やったね」と喜びました。これからも戸三小の子供たちが楽しく学べるように工夫を重ねて指導にあたっていきたいと思っています。

算数習熟度別指導について

算数習熟度別指導担当 坂井 直樹

算数習熟度別指導は、「どんどんコース」と「じっくりコース」に分かれて学習を進めています。新しい学習の最初にチェックテストを行って、前学年の内容についての理解を確かめさせ、それを基に子供たちにコースを選ばせています。

一方で、チェックテストや日頃の算数の成績だけでコースを決めるわけではないことは、子供たちに伝わっているようです。内容が定着していても、「1問1問にじっくりと向き合って問題を解決したい」という思いから、じっくりコースで学習しようとする子供もいます。また、「小数のたし算ひき算の筆算は3年生のときにできたから、初めてどんどんコースにチャレンジするんだ！」という4年生もいました。

子供にコースを選ばせることは、自己選択能力を育てる貴重な機会としています。中学校の部活動を選ぶとき、高校・大学の進路を決めるときなど、保護者の意向だけで決めることはありません。コースを選ぶ機会を通して、「何を、どのように学びたいか」ということに意識を向けさせ、目あてをもってすすんで学習する子供たちを育てていきます。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、お子様のことで不安などがありましたら、学校にご連絡ください。
※家庭での毎朝の検温や健康観察を行い、お子様が発熱や体調不良の場合や、同居する親族に風邪症状が見られた場合は、PCR検査を受ける前であってもお子様の登校をお控えください。